

■診療実績データの分析結果（イメージ）～見方②『表の読み方』～

No	医療機関施設名	設置主体	総合病床数	高度急性期病床数	急性期病床数	回復期病床数	休養中等病床数	慢性期病床数	救急入院率 (%)	人口区分	基幹症診療連携病院	③							該当数	B 類似かつ近接する				再審査要請対象医療機関あり							
												がん	脳卒中	救急	小児	周産期	へき地	災害拠点病院		地域医療支援病院	特定機能病院	総合高度期母子医療センター	2025年対象		がん	脳卒中	救急	小児	周産期		
1	〇〇市〇〇病院	公立（市町村）	100	0	100	0	0	0	70%	〇	2													9					6	●	
2	〇〇医療センター	公的（国立病院機構）	240	0	100	110	30	0	79%	〇	2	○													7					6	●
3	独立行政法人〇〇医療センター	公立（地方独立行政法人）	135	0	100	35	0	0	75%	〇	2														9					6	●
4	△△病院	民間（地域医療支援病院）	263	0	94	87	82	0	89%	○	2	○													7					6	●
5	〇〇赤十字病院	公的（日赤）	500	230	270	0	0	0	80%	○	2	○													0					5	●
6	独立行政法人国立病院機構△△医療センター	公的（国立病院機構）	610	610	0	0	0	0	87%	○	2	○																		4	●
7	〇〇済生会病院	公的（済生会）	405	15	390	0	0	0	83%	○	2	○														4				5	●

（脳卒中）
 【下の項目】脳血管手術で「特に診療実績が少ない」に●
 超急性期脳卒中加算、クッシング術等、開頭血腫除去術で「類似かつ近接」に●
 ⇒【上の項目】B「類似かつ近接」に●

（がん）
 【下の項目】全て項目で「特に診療実績が少ない」に●
 ⇒【上の項目】B「類似かつ近接」に●

⇒【上の項目】B「類似かつ近接」に●

下の項目「特に診療実績が少ない」すべてで●とされた場合、上の項目に●とする。

下の項目すべてで「特に診療実績が少ない」に●または「類似かつ近接する医療機関あり」に●とされた場合、上の項目に●とする。

No	〇〇医療センター	実績の実数										分析項目ごとの「診療実績が特に少ない」への該当										分析項目ごとの「類似かつ近接する医療機関あり」への該当														
		がん	脳血管疾患	脳卒中	救急	小児	周産期	へき地	災害拠点病院	地域医療支援病院	特定機能病院	総合高度期母子医療センター	2025年対象	がん	脳血管疾患	脳卒中	救急	小児	周産期	へき地	災害拠点病院	地域医療支援病院	特定機能病院	総合高度期母子医療センター	2025年対象	がん	脳血管疾患	脳卒中	救急	小児	周産期					
1	〇〇市〇〇病院	0	0	0	0	0	0	0	0	130	0	0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
2	〇〇医療センター	*	0	0*	0	0	0	0	0	0	0	0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
3	独立行政法人〇〇医療センター	*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4	△△病院	*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5	〇〇赤十字病院	17								620	24	22	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6	独立行政法人国立病院機構△△医療センター	14	*	17	23*	0	0	0	0	0	0	0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7	〇〇済生会病院	17								2760*	1450	48	28	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

①
 「特に診療実績が少ない」とされた項目を●とする。

②-1
 「類似かつ近接する医療機関あり」とされた項目を●とする。
 (「特に診療実績が少ない」)

②-2

参考資料1-2 (上段)

A 診療実績が特に少ない				B 類似かつ近接する					C
がん	脳卒中	救急	小児	がん	脳卒中	救急	小児	周産期	該当数
●	●	●	●	●	●	●	●	●	6
●	●	●	●	●	●	●	●	●	7
●	●	●	●	●	●	●	●	●	9
●	●	●	●	●	●	●	●	●	7
●	●	●	●	●	●	●	●	●	0
●	●	●	●	●	●	●	●	●	3
●	●	●	●	●	●	●	●	●	4

1. 「診療実績が特に少ない」に該当する（「●」）場合（実績0も含む）
 参考資料1-3（下段）における、「類似かつ近接」の「●」を省略している。（空欄となる。）
 参考資料1-2（上段）における「類似かつ近接」に該当する場合は「●」を表示している。

2. 「診療実績が特に少ない」に該当しない場合

- (1) 「診療実績が特に少ない」に該当しない医療機関が近傍にない場合
「類似かつ近接」には該当しないため空欄となる。
- (2) 「診療実績が特に少ない」に該当しない医療機関が近傍にある場合
 - ① 自身の実績が「類似」の条件に該当する場合
⇒「類似かつ近接」に該当するため、「●」を表示している。
 - ② 自身の実績が「類似」の条件に該当しない場合
⇒「類似かつ近接」には該当しないため空欄となる。

参考資料1-3 (下段)

実績の実数 ※2、※6					分析項目ごとの「診療実績が特に少ない」への該当										分析項目ごとの「類似かつ近接する医療機関あり」への該当					
がん	脳卒中	救急	小児	周産期	がん	脳卒中	救急	小児	周産期	がん	脳卒中	救急	小児	周産期	がん	脳卒中	救急	小児	周産期	
0	0	0	0	0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
0	0	0	0	0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
0	0	0	0	0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
0	0	0	0	0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
0	0	0	0	0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
17*	17*	0*	0*	0*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
14*	17	23*	0	0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
17	0*	0	0	0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

地域医療構想の実現に向けて

令和元年 9 月 27 日

厚労省医政局

1. 地域医療構想の目的は、2025 年に向けて、地域ごとに効率的で不足のない医療提供体制を構築することです。地域医療構想の実現により、限られた医療資源をそれぞれの地域で真に活用し、次の時代に対応した医療を構築することができると思っています。
2. 地域医療構想の実現に向けては、関係者のご理解・ご協力の下、これまでも地域で議論が積み重ねられてきましたが、さらに取組を進めていく観点から、今回、高度急性期・急性期機能に着目した客観的なデータを国から提供し、改めて、それぞれの医療機関に対し、今後の医療機能のあり方を考えて頂くことといたしました。
※客観的データについては、「地域医療構想に関するワーキンググループ」における議論に基づくものです。
3. 今回の取組は、一定の条件を設定して急性期機能等に関する医療機能について分析し、各医療機関が担う急性期機能やそのために必要な病床数等について再検証をお願いするものです。したがって、必ずしも医療機関そのものの統廃合を決めるものではありません。また、病院が将来担うべき役割や、それに必要なダウンサイジング・機能分化等の方向性を機械的に決めるものでもありません。
4. 今回の分析だけでは判断しえない診療領域や地域の実情に関する知見も補いながら、地域医療構想調整会議の議論を活性化し議論を尽くして頂き、2025 年のあるべき姿に向けて必要な医療機能の見直しを行っていただきたいと考えています。その際、ダウンサイジングや機能連携・分化を含む再編統合も視野に議論を進めて頂きたいと考えています。
5. 今後、地域の医療提供体制の確保に向け、病院のダウンサイジングや統廃合が必要と地域が判断する場合には、国としても必要な支援等を行ってまいります。